

令和5年度 音楽科

教科	音楽	科目	音楽	単位数	1	年次/コース	中学2年生／特進コース
使用教科書	中学生の音楽2・3上(教育芸術社)、中学生の器楽(教育芸術社)						
副教材など	アルトリコーダー						

1. 学習の到達目標

●科目について 日本の古くから歌い継がれている楽曲や、世界各地の名曲から美しさやよさを感じ取り、表現を工夫できるようになる。毎時間の鑑賞活動から、感性を育むとともに、音楽の特徴から情景を想像できるようになる。 ●コンピテンシーについて 知識・技能においては楽譜の読み方や楽器の演奏法の基礎を学ぶ。習得した知識・技能を活用し、日々の練習・鑑賞を行うことで、想像力や表現力を培う。
--

2. 学習方法について

●授業中において 音楽の授業において、「楽器」と「楽譜」は非常に重要です。忘れ物のないように参加してください。 「歌唱」「器楽」時は同じことの繰り返しだと感じるような基礎的な発声練習毎回大切に取り組んでください。 「鑑賞」時は素直な気持ちで音楽に集中し、全員で過ごしていることを忘れないでください。 ●家庭学習において 学校で習った曲について家族や友達と話し、一緒に聴いたり歌ったりしてみましょう。 繰り返し練習することで上達ははやくなります。
--

3. 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	①：知識・技能	②：思考・判断・表現	③：主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	知識「夢の世界を」「荒城の月」「サンタルチア」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを理解している。 技能 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている。器楽では、楽器の特徴を捉え、基礎的な奏法を身に付けて演奏している。	曲のリズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を甘受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、ふさわしい表現はどのようなものかについての思いや意図を持っている。	歌唱歌詞が表す情景や心情及び曲の表情や味わいに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 器楽様々な楽器とその特徴に興味関心を持っている。 鑑賞音楽の構成要素・表現要素の働き及びそれらを生み出す楽曲の雰囲気や曲想に関心を持って意欲的に聴いている。
評 価 方 法	定期考査 実技試験	実技試験(歌唱・リコーダー)	授業ワークシート 持ち物確認・授業での様子
上に示す観点・評価方法に基づいて、各観点で評価し、学期末に当該学期の観点別学習状況の評価(A、B、Cの3段階)及び評定(1～5の5段階)にまとめます。また、学年末に年度を通しての観点別学習状況の評価(A、B、Cの3段階)及び評定(1～5の5段階)にまとめます。			

4. 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点			単元（題材）の評価規準	評価方法
			①	②	③		
1 学期	歌唱	「夢の世界を」「翼をください」		○	○	歌詞の内容や曲想を感じ取り、8分の6拍子や4分の4拍子の流れにのって合唱できているか。	実技試験
		「夏の思い出」		○	○	拍の流れに乗って明るい声で歌えているか。曲の構成を感じ取って歌えているか。 情景を思い浮かべながら言葉を大切に表情豊かに歌えているか。	授業姿勢
	鑑賞	「交響曲第5番ハ短調」／ベートーベン	○		○	曲の構成に注目して曲想の変化を味わうことができているか。 作曲者や曲ができた時代背景について学び、基本的な知識を習得できているか。	ワークシート 筆記試験
2 学期	歌唱	「荒城の月」 1学期で習った曲	○	○	○	歌詞や旋律が醸し出す雰囲気を感じ取りながら歌うことができているか。歌詞の意味を理解し、情景を思い浮かべて歌えているか。	実技試験 授業姿勢
	器楽	アルトリコーダー LESSON 2		○	○	アルトリコーダーの構造を理解し、基本的な奏法を身に付けているか。簡単な曲を演奏できているか。	実技試験
	鑑賞	「アイーダ」	○	○	○	オペラという文化に触れ、音楽の特徴をとらえることができているか。調べたことをわかりやすい言葉で説明することができているか。	筆記試験
	歌唱	「サンタルチア」	○	○	○	イタリア語のもつ語感を感じ取ったり、情景を思い浮かべながら歌えているか。楽譜に書かれていることを忠実に表現しようとしているか。	実技試験

3 学 期	器楽	クラシック ギター				アルトリコーダーの構造を理解し、基本的な奏 法を身に着けているか。	授業姿勢 実技試験
	鑑賞	「文楽」	○		○	日本の古くからの伝統芸術を理解しているか。	筆記試験